

## I : 主要トピックス

## II : 企業価値向上に向けた取り組み

## III : 2026年3月期 中間決算概要

## IV : サステナビリティ推進に関する方針、取り組み

# 2026年3月期 中間決算概要

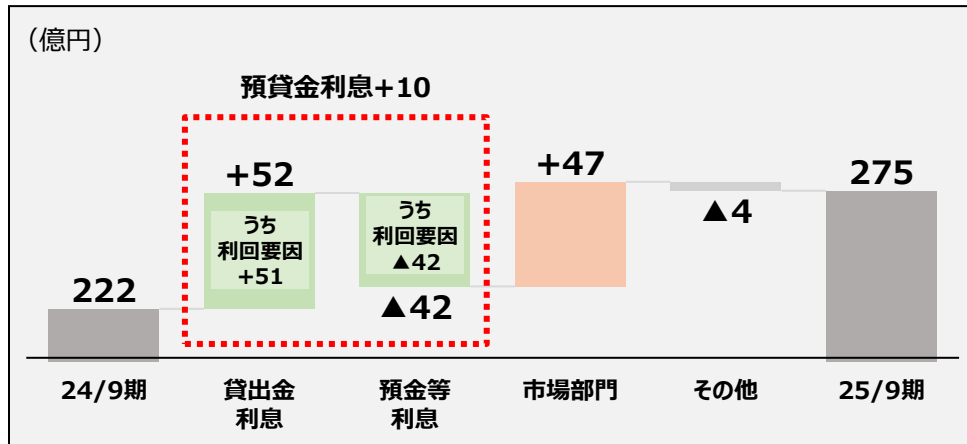
OKB 大垣共立銀行

経常利益は、資金利益の増加を主な要因としてコア業務粗利益が増加したことなどから増益

【単 体】 (単位：億円)	24/9期	25/9期	前年同期比
コア業務粗利益	260	325	+65
資金利益	222	275	+52
役務取引等利益	45	45	+0
その他業務利益 (除く国債等債券損益)	▲8	4	+12
経費	196	207	+11
うち人件費	106	112	+5
うち物件費	79	83	+3
コア業務純益	63	118	+54
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	70	120	+49
有価証券売買損益	▲21	▲11	+10
国債等債券損益 (債券5勘定戻)	▲41	▲36	+5
株式等関係損益 (株式等3勘定戻)	20	25	+5
与信関係費用	▲2	8	+11
うち一般貸倒引当金繰入額	—	▲12	▲12
うち個別貸倒引当金繰入額	—	21	+21
うち貸倒引当金戻入益	2	—	▲2
その他臨時損益	3	7	+4
経常利益	48	106	+57
税引前中間純利益	47	102	+55
中間純利益	38	78	+39

【連 結】 (単位：億円)	24/9期	25/9期	前年同期比
経常利益	60	111	+51
親会社株主に帰属する当期純利益	43	77	+34

## 資金利益の増減要因



## コア業務粗利益

円金利上昇により貸出金や円貨債券などの利回りが上昇したほか、外国証券利息が増加したことなどから資金利益が増加。

## 経費

人件費はベースアップに伴う賃金上昇などにより増加。  
物件費はシステム投資の増加や、一部業務のアウトソースにより事務委託費が増加したことなどから増加。

## 有価証券売買損益

持ち合い解消に伴う株式売却益を原資として、含み損を抱える円債および投資信託の売却を実施。

## 与信関係費用

前年同期は、信用リスクの顕在化が限定的で与信費用が低く抑えられたが、今期は一部の案件においてリスクが顕在化。

円金利上昇の環境下、預貸金利息は貸出金利回りの上昇が預金等利回りの上昇を上回り、増加  
市場部門は円債利息や市場運用利息が増加したほか、外国証券利息が増加

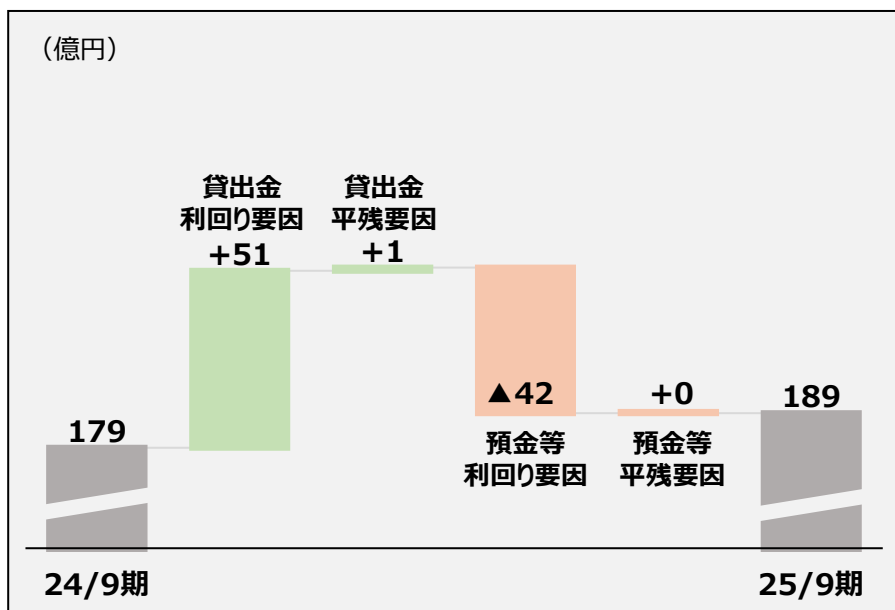
## 貸出金平残、利回り

(単位：億円)	24/9期	25/9期	前年同期比
貸出金平残	44,899	45,295	+396
貸出金利回り	0.83%	1.06%	+0.22%

## 預金等平残、利回り

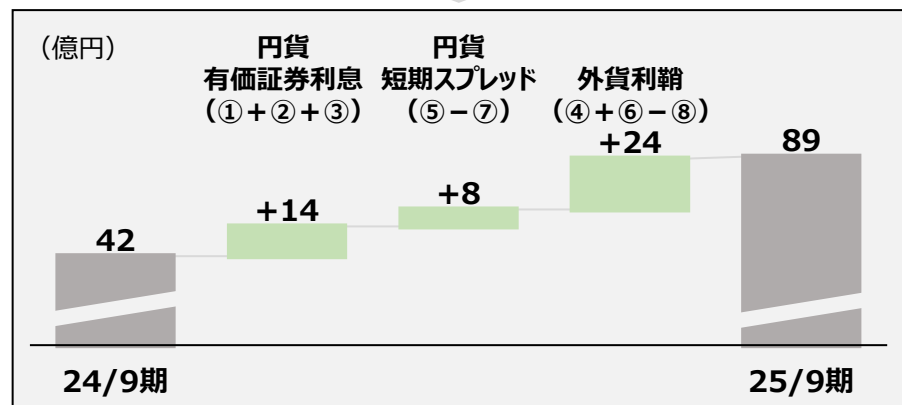
(単位：億円)	24/9期	25/9期	前年同期比
預金等平残	58,299	58,001	▲298
預金等利回り	0.03%	0.17%	+0.14%

## 預貸金利息の増減要因



## 市場部門の利息の増減要因

(単位：億円)	24/9期	25/9期	前年同期比
有価証券利息配当金	64	100	+36
円貨債券利息 <sup>①</sup>	9	17	+8
株式配当金 <sup>②</sup>	30	32	+1
投信分配金 <sup>③</sup>	2	7	+4
うち投信解約損益	▲7	▲2	+4
外国証券利息 <sup>④</sup>	21	43	+21
市場運用・調達	▲22	▲11	+11
市場運用利息	6	14	+8
国内部門 <sup>⑤</sup>	6	14	+8
国際部門 <sup>⑥</sup>	0	0	▲0
市場調達利息	29	26	▲2
国内部門 <sup>⑦</sup>	0	0	+0
国際部門 <sup>⑧</sup>	28	26	▲2



役務取引等利益は支払保証料、保険料は増加したものの、法人ソリューション手数料などが増加し、概ね前年同期並み水準を維持  
 その他業務利益（除く国債等債券損益）は、前年同期に計上した貸出金売買損がなく、増加

## 役務取引等利益の内訳

(単位：億円)

	24/9期	25/9期	前年同期比
役務取引等利益	45	45	+0
役務取引等収益	90	93	+3
うち為替手数料	14	15	+1
うち法人ソリューション手数料	13	20	+6
うち預り資産関連手数料	31	30	▲1
役務取引等費用	44	47	+3
支払保証料、保険料	37	40	+3

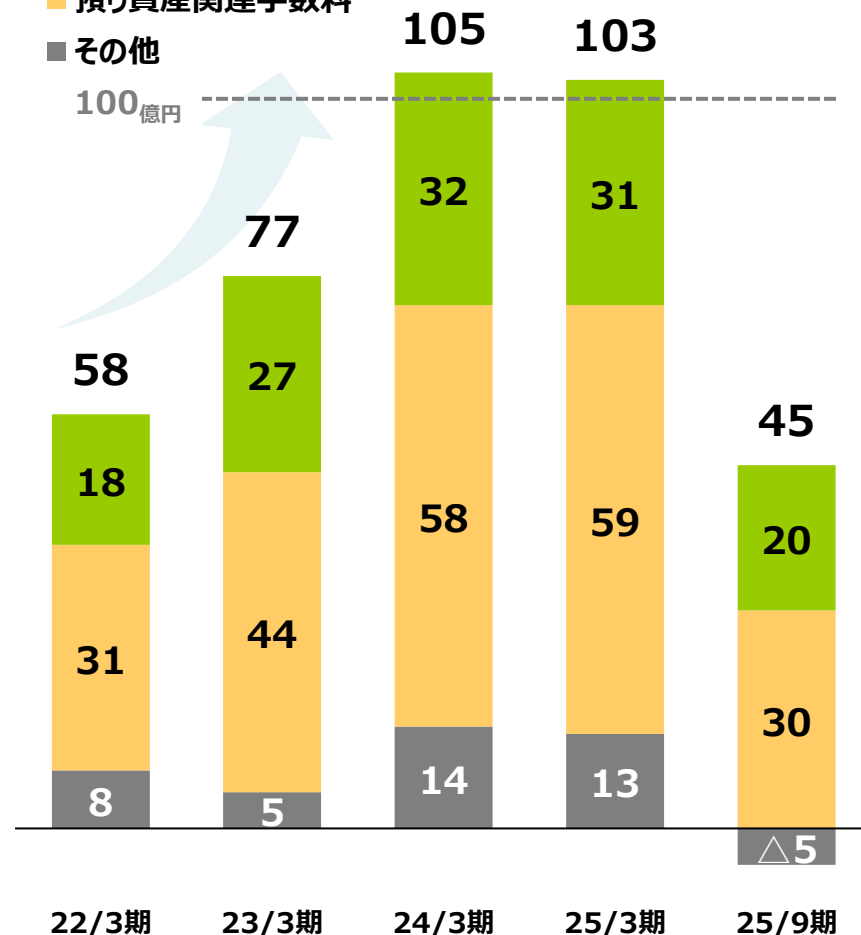
## 役務取引等利益の推移

(単位：億円)

■ 法人ソリューション手数料

■ 預り資産関連手数料

■ その他



## その他業務利益（除く国債等債券損益）の内訳

(単位：億円)

	24/9期	25/9期	前年同期比
その他業務利益	▲8	4	+12
うち金融派生商品損益	▲14	▲6	+7
うち外国為替売買損益	18	10	▲7
うち貸出金売買損益	▲12	0	+12

## 《外為デリバティブ（通貨オプション）成約件数》

(単位：件)



# 経費の状況

OKB 大垣共立銀行

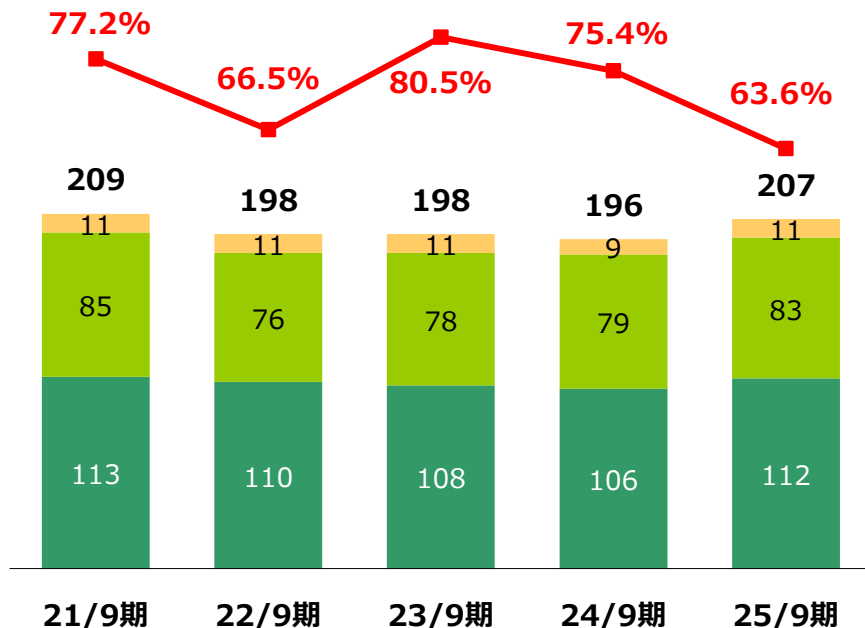
経費は人件費がベースアップに伴う賃金上昇などにより増加したほか、物件費がシステム投資の増加などにより増加したことから増加  
コアOHRはコア業務粗利益の増加により低下

## 経費とコアOHRの推移

(単位：億円)	24/9期	25/9期	前年同期比
経費	196	207	+11
人件費	106	112	+5
物件費	79	83	+3
税金	9	11	+1
(単体) コアOHR	75.4%	63.6%	▲11.8%

コアOHR = コア業務粗利益ベース

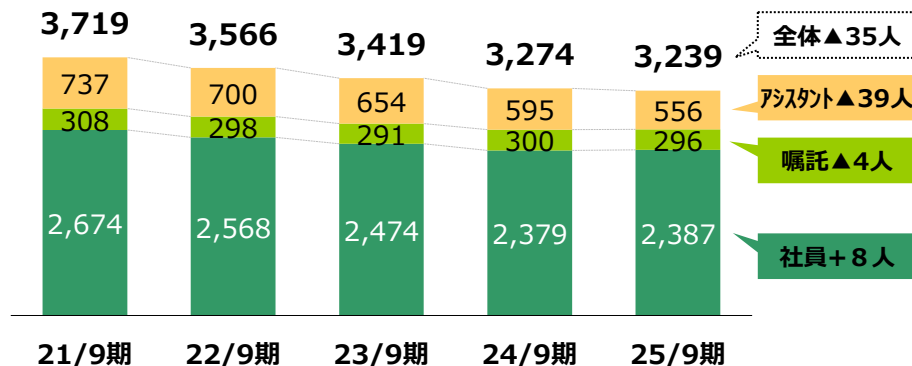
(単位：億円) ■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金 ■ コアOHR



## 従業員数の推移

(単位：人)

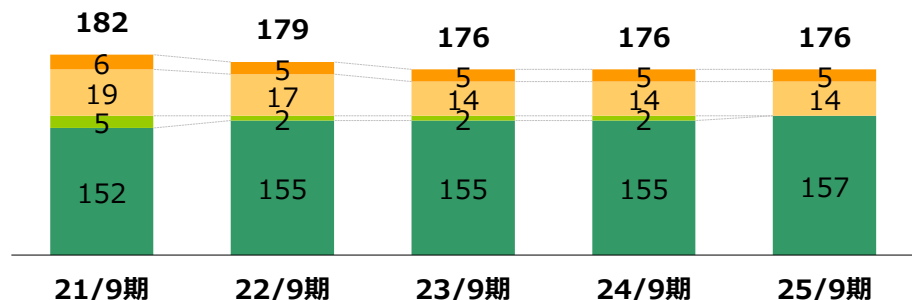
■ 社員 ■ 嘱託 ■ アシスタント



## 店舗の推移

(単位：カ所)

■ 支店・出張所 ■ 代理店 ■ ローンプラザ ■ その他



・その他：移動店舗・海外駐在員事務所

【店舗内店舗の推移 (単位：カ所)】

21/9期	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期
11	18	20	23	29

# 不良債権残高・与信関係費用の状況 OKB 大垣共立銀行

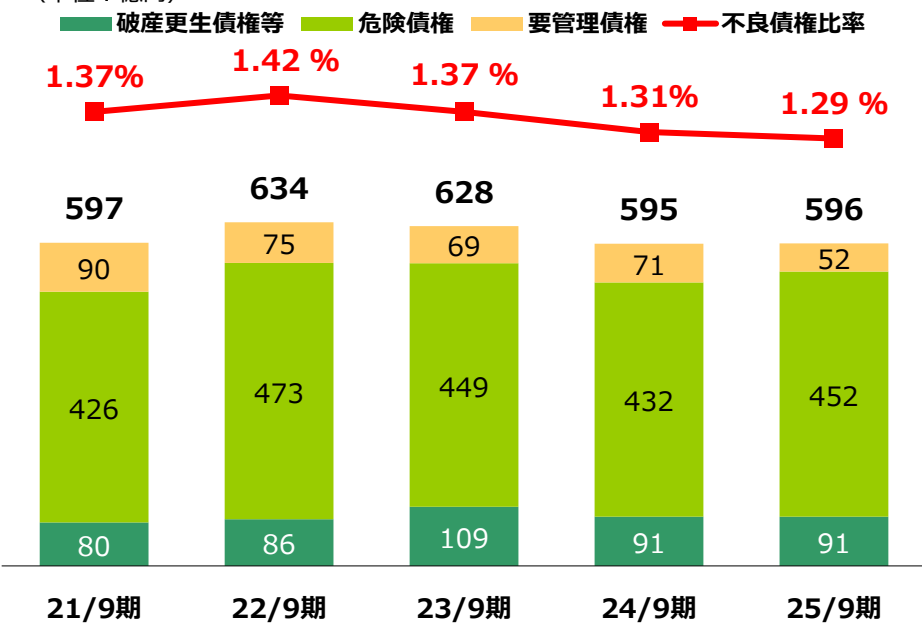
前年同期は、信用リスクの顕在化が限定的で与信費用が低く抑えられたが、今期は一部の案件においてリスクが顕在化

## 不良債権残高の推移

【単 体】 (単位：億円)	24/9期	25/9期	前年同期比
銀行法・金融再生法開示債権	595	596	+1
破産更生債権等	91	91	+0
危険債権	432	452	+19
要管理債権	71	52	▲19
不良債権比率	1.31%	1.29%	▲0.02%

※ 部分直接償却は実施していません

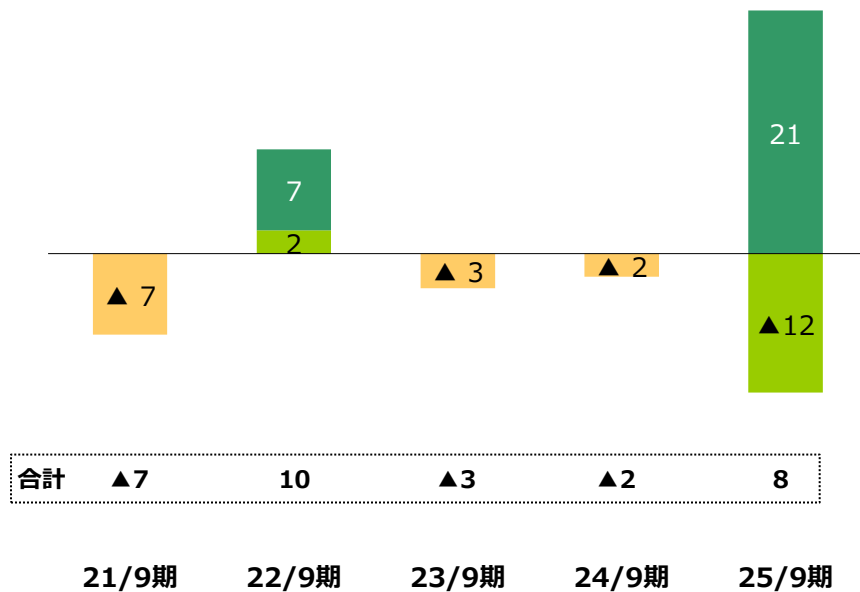
(単位：億円)



## 与信関係費用の推移

【単 体】 (単位：億円)	24/9期	25/9期	前年同期比
与信関係費用	▲2	8	+11
一般貸倒引当金繰入額	—	▲12	▲12
個別貸倒引当金繰入額	—	21	+21
その他	▲2	▲0	+2

■ 一般貸倒引当金繰入額 ■ 個別貸倒引当金繰入額 ■ その他  
(単位：億円)



# 有価証券運用の状況

OKB 大垣共立銀行

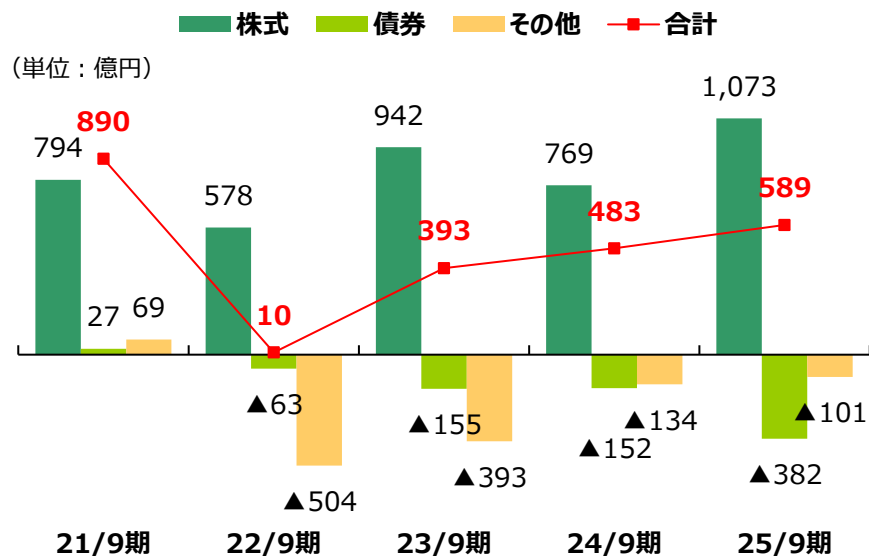
有価証券残高は、円金利上昇の環境下、円貨債券の残高積み増しを控えたことから減少したものの、含み益の増加を主因に株式が増加したほか、外国証券の残高復元を実施したことにより、概ね前年同期並みの水準

その他有価証券評価損益は円貨債券の評価損は拡大したものの、株式の評価益が増加したことから増加

## 有価証券残高推移

(単位：億円)	24/9期	25/9期	前年同期比
有価証券残高合計	11,341	11,434	+93
円貨債券	6,462	6,062	▲400
国債	755	1,653	+897
地方債	3,268	2,646	▲622
社債	2,437	1,762	▲675
株式	1,381	1,666	+285
外国証券	1,373	1,695	+322
その他（投資信託含む）	2,124	2,010	▲114

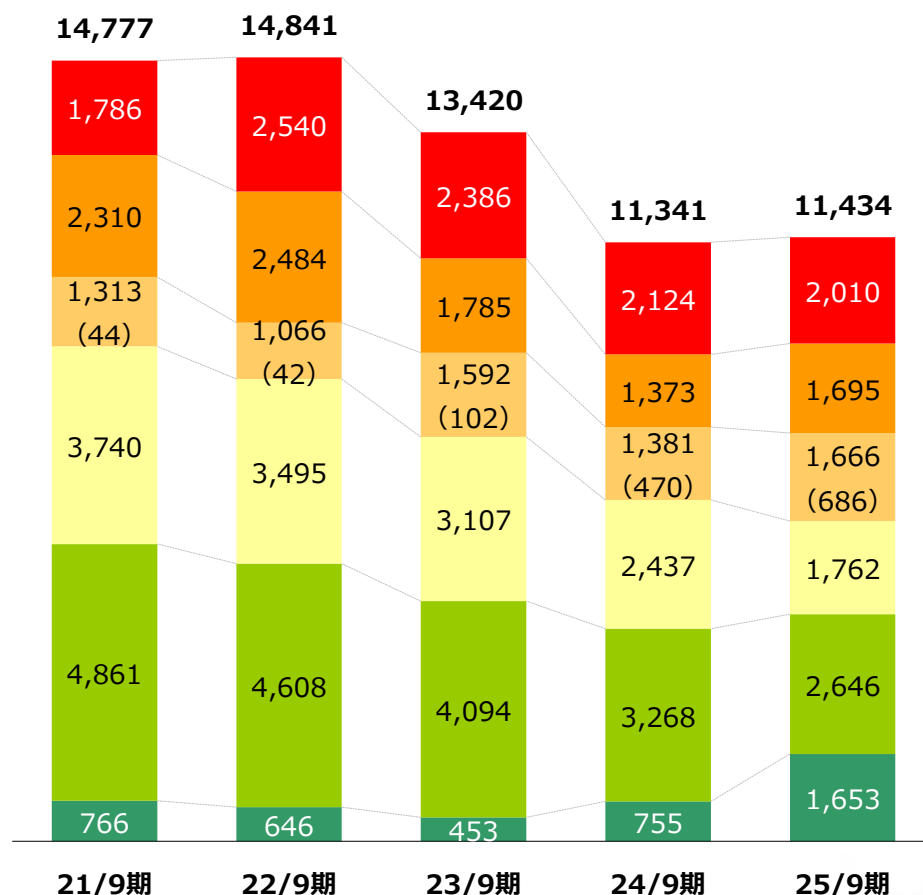
## その他有価証券評価損益推移



## 有価証券残高推移

■ 国債 ■ 地方債 ■ 社債 ■ 株式（うち純投資） ■ 外国証券 ■ その他

(単位：億円)





# 2026年3月期 業績予想

OKB 大垣共立銀行

経費や与信関係費用は増加するものの、コア業務粗利益の増加を主因に連結当期純利益は増益を予想（最高益更新）  
当初計画時の業績予想※から、日銀政策金利引上げ時期を後ズレさせたことによる収益下押し圧力あるも、他の要因が増益に貢献

【単 体】（単位：億円）	25/3期	26/3期	前期比
コア業務粗利益	563	650	+87
資金利益	463	547	+84
役務取引等利益	103	96	▲7
その他業務利益（除く国債等債券損益）	▲4	5	+9
経費	401	419	+18
うち人件費	211	222	+11
うち物件費	167	173	+6
コア業務純益	162	230	+68
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	168	233	+65
有価証券売買損益	3	▲6	▲9
国債等債券損益（債券5勘定戻）	▲49	▲72	▲23
株式等関係損益（株式等3勘定戻）	53	66	+13
与信関係費用	3	14	+11
うち一般貸倒引当金繰入額	▲6	▲10	▲4
うち個別貸倒引当金繰入額	9	25	+16
その他臨時損益	16	16	+0
経常利益	179	227	+48
税引前当期純利益	171	217	+46
当期純利益	132	162	+30

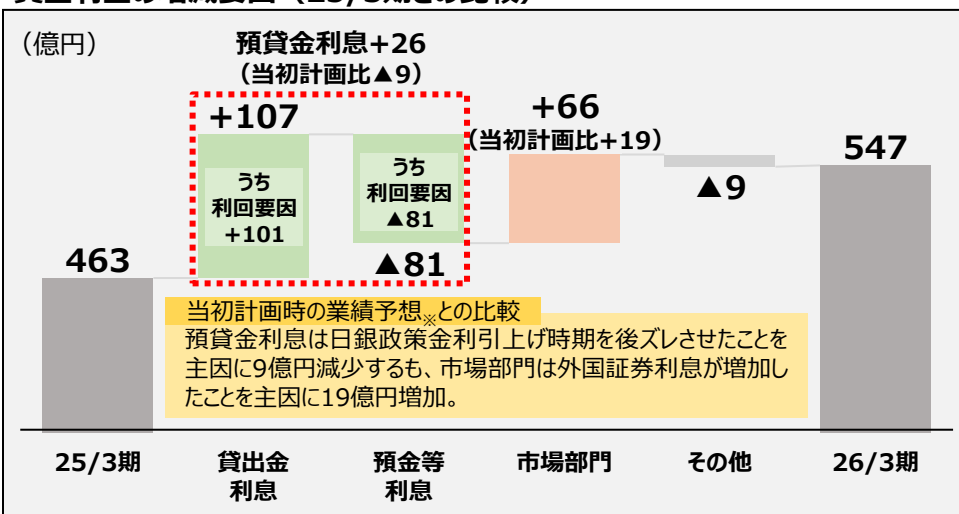
【連 結】（単位：億円）	25/3期	26/3期	前期比
経常利益	207	249	+42
親会社株主に帰属する当期純利益	147	171	+24

## 金利シナリオ

日銀政策金利：25/4Qに0.50%⇒0.75%（当初は25/3Qに利上げを予想）

米FFレート：25/3Qに4.25%⇒4.00%

## 資金利益の増減要因（25/3期との比較）



## コア業務粗利益

円金利の上昇に伴う預貸金利息や円貨債券利息の増加などにより、コア業務粗利益は増加する見通し。

## 経費

ベースアップに伴う賃金上昇などにより人件費が増加するほか、システム投資の増加などにより物件費が増加することから、経費は増加する見通し。

## 与信関係費用

足元の経営環境を勘案し、与信関係費用の見積もりにあたっては慎重な判断を行った。

※当初計画時の業績予想：2025年3月期決算短信における2026年3月期の業績予想